

発表タイトル：深泥池に生息する外来魚の食性

発表者：*川村 鍛斗、加藤 美紅（京都先端科学大学附属高等学校 理科部）

概要：

深泥池は京都の北山に位置し、浮島を持つ池である。コバンムシやジュンサイ、ミツガシワなどたくさんの生物生息しており、国の天然記念物にも指定されている。近年、ブラックバスやブルーギルなどの外来魚が貴重な在来種を捕食していることが問題になっている。しかし、深泥池にはミツガシワなどの貴重な植物が多く生息しており、一般の人は魚を釣ることが禁止されている。そこで私は、深泥池の保全会に入って許可を得て釣りをし、釣った外来魚を解剖し胃の中の内容物を調べることで外来魚が深泥池の生態系にどんな影響を及ぼしているかを調べることにした。この3年間でブルーギル13個体、オオクチバス7個体を解剖し、胃の内容物を詳細に調べた。その結果、ブルーギルは昆虫類を積極的に捕食しており、オオクチバスは昆虫類に加え、ザリガニや小魚などを捕食していることがわかった。